

## ナギの木 第3報

2013年2月12日 奈良方面に造詣深い部田氏の案内にて

林陽寺の中庭にある一本のナギの木。『神の木』と教えていただいて以来。この木の源を求めての旅。和歌山的那智の速玉大社から、京都へと熊野信仰の足跡を訪ね、ナギの銘木に巡り会いました。「ナギ=椰」でありました。



ある方から、春日大社にも沢山あるよとお聞きしました。早速行ってみました。ありました「天然記念物 ナギ樹林」でした。8世紀に献木されたものが広がり、植栽は奈良朝とされる。大正12年に記



念物に指定されている。こちらのナギ「竹柏」と表示されていました。ある方曰く「竹のような葉ですよ」と説明された。まさ



にナギの純林です。近くの寺を巡りましたが、大安寺や元興寺にも植えてありました。

樹林の中には、鹿の糞などもありました。関係者の方にお聞きすれば、鹿も食べない木で、馬酔木（アセビ）のように少し毒気があるのではないかとのことでした。正に、春日明神の使いである鹿も食べない『神の木』でした。



